

Googleマップ活用による、旅行者行動分析～持続可能な次世代集客/収益強化		取組開始時期	2020/9	取組の カテゴリー	情報化 (ICT・IoT・AIの利活用等)
1. 団体名	株式会社リーゴ	2. 連携先の 団体	一般社団法人 関東観光広域連携事業推進協議会		
3. 取組 目的	旅行者のマップ検索という新潮流を踏まえ、その主たるGoogleマップを活用し、持続可能な旅行者行動分析/観光誘致/新収益を創ることです	4. 関連する ゴール			

5. 取組詳細

🕒🕒 観光協会/観光施設向けに Googleマップを活用した分析/集客支援

※連携は始まったばかりで、今後積極的に取り組んでいく段階



取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点(=持続可能性)

これまで、観光は**分析一過性で終わり、次に繋がらない社会課題**がありました。それを、マップ検索台頭に合わせ、観光協会様がマップ対応の重要性を啓蒙、Googleに詳しく旅行サイト運営の弊社が実務をする連携で、効率&多地域へ広げ、持続成長できると考えています。

ステークホルダーとの連携

弊社：本事業の実務(マップ分析/運用支援/ツアー造成販売による収益化を一気通関化)
関東観光広域連携事業推進協議会様：啓蒙(自治体/地方会社アプローチが強い)
 ※近日、観光協会以外に鉄道各社も参画

モデル性・波及性

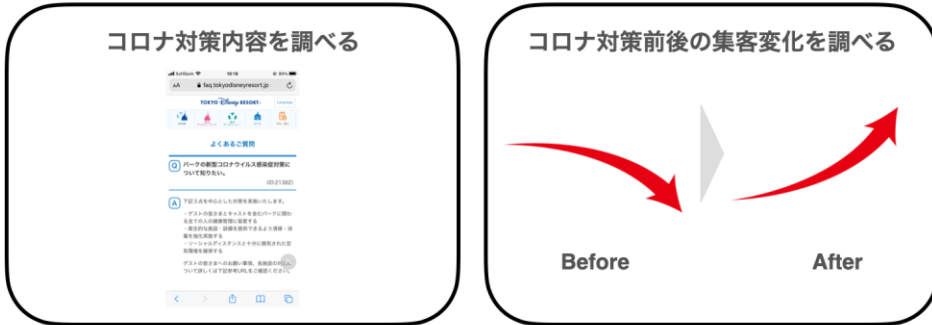
モデル：(下記からの対価)
 観光協会様向け マップ分析/運用支援
 観光施設様向け マップ運用支援
波及性：
各DMOが、コロナ観光客激減で新たな役割を問われる中、弊事業が新規成長性+日本人/訪日客両アプローチ可能+一気通貫性ある事から協業依頼が急増中。
 地域～全国～世界へ 同様の仕組で展開可

自由記述欄

事例① コロナフィルス影響による変化解析：
各施設の**コロナ対策状況の分析／啓蒙**

取組中事例

事例② 集客に向けた運用支援：
口コミ分析/評価点数分析から管理施設の**集客運用**実施



啓蒙

Liigo



管理施設の集客運用実施

Liigo

連携団体様の声



(一社)関東観光広域連携事業推進協議会 事務局長

服部 卓郎 様

これまで、分析+集客支援というと、支援者の多くが旅行專業でない故、机上の空論になり、分析のみの一過性で終わってしまう事が多かった。

Liigo社は、旅行分野に精通する方々がおおり、本事業に対する見識、分析+集客以外に、ツアー/ルート開発も見込めるので、引き続き、協働に大きな期待を寄せています。

なぜLiigoなのか？

観光特化Googleマップ分析+運用支援会社は現状弊社のみ



簡潔な説明動画をご覧ください

<https://youtu.be/KegWSoliiDo>